



第13回通常総会開催

人と人をつなぐ働き場づくりが今社会から求められている

2011年7月2日さいたま市別所沼会館において、議決権31のうち30のワーカーズの出席があり、総人数80名で総会が開催されました。

3期目となる後藤成美会長は、「東日本大震災を経て被災地での協同の手法を取り入れた事業の再建が注目されるなど、働く人の協同組合ワーカーズの運動も社会に向けますます発信していくべき時にあります。今年度の連合会は中間支援組織としての機能を充実させ、さらにワーカーズ運動を広めていきたい」と挨拶し、4名の来賓の皆さんの激励をいただいて、議事審議に移りました。



■2010年度事業報告

6ワーカーズが誕生し会員となり目標を達成しましたが、2ワーカーズが解散し脱退しました。

■2010年度決算報告

収入	3,598,818円
支出	3,036,974円
剰余金	561,844円
前期繰越損失	-114,539円
次期繰越剰余金	447,305円

2010年度から会員分担金が、会員ワーカーズの会員費と剰余金額を基準に算定され収入が増えたことにより、余裕のある決算報告となりました。

■第3次中期計画案

若者が集うワーカーズをめざし、2011年度から2013年度の3年間の計画を提案しました。事務局体制を整え、3年後に事務局ワーカーズ立ち上げを目指します。

■2011年度事業計画案と予算案

ワーカーズを広め、会員ワーカーズの事業を強化し、法制化運動を進めるために内外の組織との連

携を強めます。今年度から新しい事務局体制を整え、中間支援組織体制を強化します。

質問 今までの事務局とどう変わらるのか？

返答 今年度は1日5時間程度の1人工を2人で対応し(前年比約160%)、前年度「この指とまれ」に委託していた業務を個人との契約にする。

すべての議案が賛成多数で可決され、連合会は新しいスタートを切りました。

□2011年度運営委員・監事

運営委員 後藤成美((N)あいのて) 福島せい子(編集ワーカーズ・ふれあ) 中野正子((N)a.n) 金室八重子((企)はな) 渡辺千枝((企)旬) 佐藤はるみ(つくし) 佐藤春江((企)埼玉葬送サポートセンター) 高木友紀(SOU(走)) 中島ふじ子((企)豆の会) 武田信子(Mrs.ユニオン) 日原久美子((企)わっぱはつは)

監事 井瀧佐智子((N)法人この指とまれ!)

(N) NPO法人 (企) 企業組合



「キッチンとまと」の再出発

地元生産者の農産物を使い、
空き店舗有効利用を企図する行政とともに

1995 年に設立し、2010 年 5 月から休業していた「キッチンとまと」が新たな店舗に移転して 7 月 28 日新規開店しました。

食産業の厳しい現実はここ数年キッチンとまととの経営も圧迫していました。家賃が高く休業を決断してから「いつ再開するの？」という暖かい言葉をたくさんの方からいただき、再開の場を模索していました。そんな中で、越谷市が空き店舗の有効活用を促し、店舗の改裝費用助成と 2 年間の家賃半額補助の取り組みを始めたことを知りました。

南越谷駅から少し歩く住宅街の一角、昭和の香り漂う癒しのアーケード空間「日の出商店街」の中にその物件はありました。ここでまた、市内生産者の農産物を使ったおいしくて安全なランチを作ろうと、動き出しました。新たなメンバー 5 人が遠くて通えなくなったメンバーと交代し、7 人での再出発に



日の出商店街で、関係者や地域の皆さんを招待してのオープニングパーティーは和やかに開かれました

なりました。これまで環境問題や、市内農家の農産物を利用する取組などを通して頻繁に行政との関わりを作ってきた結果でもあると思います。

開店から 2 か月たち、注文も増えてきました。課題はこの働き方での仲間をもっと増やすことです。

企業組合キッチンとまと 須長こう子
〒343-0022 越谷市蒲生東町 128-13 日の出商店街
Tel/fax 048-962-4787

新しい
ワーカーズ
紹介

埼玉葬送サポートセンター

大切な人を送る最後の時、遺族に寄り添うサポート事業が始まりました。

私たちは生活クラブ生協が主催した「自分らしい老い支度を考える委員会」で、後期高齢期に必要な医療や介護、成年後見、葬儀やお墓について学びました。特に葬儀に関してさまざまな課題を解決する仕組みが必要であることを確認しました。

その時になって事務的な葬儀のあれこれを決め手配するのは遺族にとって負担です。業者の言いなりになりがちでした。そこで葬儀業者に所属せず、適切なアドバイスと支援ができるサポート組織を発足しました。

遺族の気持ちに寄り添い、きちんと話を聞き、わからぬ事にもしっかりと応える。そしてまとまと



無宗教葬の祭壇例



講座講師の佐藤春江さん(左)と
矢島保子さん(右)

金額が必要になる葬儀料金についても、明朗で正直に丁寧に説明します。落ち着いて判断するためのサポートをする仕事です。

価値観が多様化している現代、さまざまなニーズに応えるために、葬儀支援のほか、生前相談や、ゆうなぎ学習会への講師派遣をしています。

下記、事務局ではミニ生前相談(要予約ファックス・メールで)の他、もしもの時のお願いノートを販売しています。

企業組合 埼玉葬送サポートセンター 佐藤春江
Tel/fax 048-963-0030
E-mail sou-sou.saitam@tbz.t-com.ne.jp



「この指とまれ！」放射能検査受託

課題は山積、でも生協組合員と生産者のため



福島の事故の後、世の中に不安を与えていた放射能。大事なことは消費者が正確な情報を得るということです。協同組合運動のパートナーの一つである生活クラブ生協は、この9月から野菜や魚介類などに広げた放射能検査を始めました。その検査を担っているのが埼玉のワーカーズ、「この指とまれ！」と「つどい」です。

8月初めに生活クラブ連合会から埼玉ワーカーズ連合会に正式な要請があり、戸田デリバリセンター(農産物集荷)の作業について「この指とまれ！」に打診されました。飯能デリバリセンター(生鮮食品その他集荷)の検査は、生活クラブ連合会の業務受託をしている「つどい」が引き受けるということでした。

「この指」の事業は地域のたすけあいを地域で担うという福祉事業で、今回の業務は全くの異業種、業務体制も早朝からのフルタイム、しかも開始までに1か月もないという依頼でした。即座に断ることも考えましたが、生活クラブの消費材検査とあればワーカーズや組合員が関わることで検査の信用度が上がることは確かです。引き受けに際して

は、さまざまな手続きを踏み、9月からの業務が始まりました。始めてからも作業環境の問題、フルタイムで働く若者の雇用・労災保険の問題、今までの福祉事業への関連と課題は次から次へと噴出しています。

しかし始めたからには大勢の組合員と生産者のために。正しい計測実施のために。そしてワーカーズとしても向き合わなければならぬ労働者の雇用環境改善のために、一つ一つの課題をクリアして業務を続けていきたいと考えています。

NPO法人 たすけあいワーカーズ この指とまれ！

井瀧佐智子

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3

Tel/fax 048-838-7884

*消費材放射能検査の結果は生活クラブ連合会ホームページに掲載

第10回WNJ全国会議は 千葉で開かれます！

2011年11月19日(土) 20日(日) 千葉市(千葉大学他)

テーマ **地域再生に向けて
ネットワークでつくる「新しい公共」
ワーカーズ・コレクティブが結ぶ地域の縁！円！援！**
スケジュール

19日 シンポジウム 10:00～16:40

第1部 ワーカーズだからできる生活まるごとたすけあい 10:00～12:00

第2部 環境、リサイクル、情報でつながるまちづくり 13:00～14:30

第3部 ネットワーク機能の充実が安心を支える 14:45～16:15

懇親会 18:00～

20日 分科会(7企画) 10:00～13:00 (分科会テーマ: 1. ひろば運営の課題と今後～事業継続

2. 「働く」を学生と考える 3. 共につくり、食べ続ける 4. 暮らし方とエネルギーの地産地消

5. 国際協同組合年にむけて…法制度を考える 6. ワーカーズがつくる福祉現場の人づくり

7. 「ユニバーサル就労」のしくみづくり<生活クラブ千葉グループの取り組み>

自主企画(3企画) 13:30～16:00・オプショナルツアー(2コース) 13:30～

問合せ 埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会

tel/fax 048-844-0221 E-mail saitama.waakore@gmail.com



第9回WNJ全国会議
(2009年埼玉)全体会の様子



働く人の協同組合を作りましょう！

起業講座報告

連合会が講師を派遣し、ワーカーズ・コレクティブという働き方や、その作り方を講義する「起業講座」。今回は生活クラブ生協からの依頼を受け、生活クラブ生協が経営する介護保険事業所「わーくわーく」で講座を開きました。

働く人たちが主体となることの意義、地域に貢献する事業を担う大事さと大変さ、ワーカーズとなるための準備作業などを連合会メンバーが講師となり講義しました。県内3か所の事業所で、

業務を日々行っている職員の方たちに向けて、業務後に講座を持ちました。

たくさんの方たちがワーカーズというはたらき方に共感し、主体的に事業や社会に関わることができるようになると良いと考えます。



8月10日
狭山わーくわーく
にて

川越市がワーカーズ・コレクティブ 講座開催

川合善明川越市長の提言により、川越市は市民に向けてワーカーズ・コレクティブの働き方を知らせ、コミュニティビジネス促進を図る方針です。連合会が講師を派遣し川越市でのワーカーズ誕生を応援します。

- ◆2011年12月9日(金)13:30~15:30
- ◆川越アトレ6F 川越市コミュニティルーム
- ◆募集 川越市在住市民30名

お問合せは川越市まで



◆ワーカーズってなに？出前講座 講師派遣します
◆2時間 1万円+交通費（関係団体は5千円）

「ホップステップワーカーズ
起業のためのガイドブック」
改訂新版！埼玉W.Co連合会発行500円

「地域で暮らし続けるために 共に支える
ワーカーズコレクティブの福祉事業事例紹介」
WNJ発行500円

ワーカーズを
もっと知りたい、
もっと広めたい。
そんな人たちのための冊子

(事務局に
お問い合わせください)



※WNJ：ワーカーズコレクティブネットワークジャパン（全国組織です）

「あとがき」 16歳になる我が家の猫は3月11日の震災時、2階の窓際で日向ぼっこしていて棚からの落下物に巻き戻されて以来半年、2階の部屋に入りませんでした。冷え込みが強くなった日、娘が抱えて連れて行きしばらく一緒にいた後、また同じ2階の窓際で日向ぼっこができるようになりました。報道からは震災被災地の少しづつの復興とともに、人々の心身の苦労が重く伝わってきます。皆さんに、温かい穏やかな時間が重なってゆきますように。(お)

ワーカーズ・コレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

発行…埼玉ワーカーズコレクティブ連合会

1部 100円

発行責任者…後藤成美 編集…広報チーム 佐藤/福島/齊藤/大塚

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト内 電話 048-844-0221 FAX 048-838-7884

<http://saitama-workers.com/>